

# まちの相談を増やしていく



新事務所の外観



事務所の前の道路元標

新しい事務所は、元服屋さん——ここは、青と白の縞模様のひさしが鮮やかな「ヨネダ洋品店」の店舗でした。書かれていた電話番号は、市外局番が「0795」のときのまま。半世紀続いた体操服や紅白帽など

を扱うお店だったそうです。昔から三田小学校区近隣に住んでいた人には馴染みのある場所かも知れません。空き家になつてから3年が経とうとしていた今年の春、多くの方々のお力添えにより、私たちはここ

今年の6月、場とつながりの研究センターは、事務所を移転しました。まちの情報の交差点となる、新しい「場」ができました。

## 三田ほんまち通りに新拠点 心機一転、新事業もスタート

○発行元 特定非営利活動法人(NPO法人)場とつながりの研究センター  
三田市三田町29-14  
電話0795-553-2522  
FAX0795-553-2522  
郵便番号653-0044  
紙へのお問い合わせや会員お申込みは、右記までお願いいたします。

# 場とつながり

として城下町を中心全国的に設けられたもので、その後、街の起点を示す道路元標の役割も果たしたそうです。こを起点に本町通りに進めば大阪・神戸へ、三輪に進めば京都へ。現在の国道176号迂回ルートが整備されるまでには、本町通りは馬車も通るような旧国道の地位にあり、この場所は名実ともに長らく三田のにぎわいの中心にあります。

## まちの人気が気軽に集える場を 子どもたちも、まちの主人公

ここがそのような情緒正しき場所であることを教えてくださったのは、三田の歴史に詳しい地域の方々でした。おそらくみなさんの声が聞かれます。本町通り側には、「札の辻（札場の辻）」と呼ばれる石碑もきれいな形で残存。札の辻とは、江戸時代に民衆へのおふれ（札）を出す場所

景によって大きく異なっています。このような違いを面白く思うことはとても大事なことで、「なんとなくこの人と、もう少し関わってみたい」と感じること

なるのではないかと思いま

うか。

私たち、違いが面白く「見える」ような取り組みをまちの中でも実施していきたいと思います（6月9日に行われたお披露目＆交流会で実施事業をご紹介しました）。詳しくは裏面の「所信表明」紹介をご覧下さい。

私たちにとって目からうろこの話であつたり。また、日常生活で身についた、日々よつとしたり。ひとりが得意とすることは、それぞれの生活背

景によって大きく異なることがあります。このように違うことを面白く思うことはとても大事なことで、「なんとなくこの人と、もう少し関わってみたい」と感じること

なるのではないかと思いま

うか。

私たちの得意な目標となつたり。一人ひとりが得意とすることは、それぞれの生活背景によって異なります。つまり、私たちの得意な分野である、まちについての相談対応も、今までいらるる「場」と

事務所の前は、三田小学校や有馬高校の子どもたちの、毎日の登下校ルートです。子どもたちもまた、まちの大重要な主人公のひとり。ほんまちエリアが、いろんな背景をもつたいろいろな子どもたちにとって、ひとつの居場所となれるよう、まちぐるみで人を支えていける取り組みも考えています。

具体的には、まずは寺子屋の開催などから始める予定にしています。また決まりましたら、皆さまにもご報告いたします。

### （編集後記）

新事務所に移転して約2カ月。ありがたいのは、何気なく立ち寄つてくださる方々の存在。「おうち」な感じの飾らない店構えが好評。改めて家主の米田さんに感謝します。ほんまちにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

## まちカフェ&まちゼミ

新事務所で始まった注目の新事業、それが「まちカフェ！」と「まちゼミ」。7月にどちらも第1回が開催されましたので、その内容を報告します。

まちカフェ！は、お茶菓子片手におしゃべりを楽しむ、つながりづくりの場で、気軽に参加できる雰囲気作りに努めています。第1回（7月4日）は、参加者8名が和気あいあいとした雰囲気の中、退職後の生活の楽しみ方や地域のひとり暮らし高齢者の支援などを話題に語り合いました。

次回は8月8日（水）10:30～12:00まで、当事務所にて開催。参加費は500円で申し込み不要です。

まちゼミは、地域の方々を講師にお迎えする少人数のゼミ。第1回（7月6日）は、事務所お隣さんの道遊康浩さん（どうゆう電気社長）を講師にお迎えし、

「街の電器屋さんに『節電』を聞く」をテーマに開催。次回は8月下旬の予定です。皆さまのお越しをお待ちしております！



## 理事長 所信表明 新事務所お披露目式典の発表から

本日は、私たちの新事務所お披露目式典において、発表したいと思います。今日は、皆さんに、この新事務所で我々が何をしていくかについて、発表したいと思います。

その前に、新しい事務所の自慢をさせてください。この事務所は、なんと三田の中心地にあります！と言いますのも、事務所の前に道路元標があるのです。道路元標というのは、主要な道路の交差点や、道路の起終点、まさに中心地と言える場所に置かれるものだそうです。市内でも6か所しかないと聞きます。

■場とつながりをつく  
り、まちの笑顔を増やす  
このように、素晴らしい事務所をお借りすることができましたので、その意味でも、ここで何をするかが、本当に問われるところかなと思っています。

まずビジョンとして決めましたが、「場」と「つながり」をつくり、まちの笑顔を増やす。私



の性格をご存じの方でしたら、こんなシンプルなのが出てきたことをちょっと褒めてほしいなど（笑）。

もともとは私も、この場所であれをしたい、これをしたいと、結構、難しいことをいっぱい言っていたんです。ところが、理事会での意見を言うと、「夢がない」、「希望がない」、「暗いぞ、おまえ」という反応で。

実は私、意図して、希望とか笑顔というビジョンではなくて、もっと社会の問題をこう解決します、というようなものを提案していたのです。といいますのも、私はちょうど今40歳ですが、40歳より上の人と下の人で完全に違うマインドがあるそうけれど、40歳より上の人が、40歳より下の人で完全に違うマインドがあるそうですね。といいますのも、私はちょうど今40歳ですが、40歳より上の人が、40歳より下の人で完全に違うマインドがあるそうですね。

ところが、理事や、その他いろいろな方からも話を聞いていると、い

ういう若い人たちが多いならば、なおのこや、違うのではないかという意見が大半でした。そういうためにはどうした。その人たちが笑顔にならいいのか考えなければいけない。今日より明

日が良くなるということが信じられないのは、やっぱり悲しいことじやないかと。そこで、まずは笑顔を増やすということに、活

動の焦点を当てようとしたことになりました。私は、今まで通り動の焦点を当てようとしたことになりました。

なんです。  
私より年下の方々は、

るという感覚を持つた

ことがあります。だから、今日より明日が良くな

くなると言わても信

用できない。逆に私は、

高校時代がまさにバブ

ルの真っ当中。大学を

卒業するときに「あれ

つ？」みたいな状況でし

たけれど、でもまだま

だ、「まあ何とかなるだ

ろう」みたいな。この「何

とかなる」が、まさしく

「今日より明日が良く

なるはず」という希望で

すよね。若い人たちはそ

ういうものを持ったこ

とがないらしい。だからこそ、夢とか希望とか笑

顔とかでなくて、もっと現実的なことを言おうとしていました。

ところが、理事や、そ

の他いろいろな方から

も話を聞いていると、い

ういう若い人たちが

や、違うのではないかと

いう意見が大半でした。

そういうためにはどうした。その人たちが笑顔にならいいのか考えなければいけない。今日より明

日が良くなるというこ

とを信じられないのは、

やつぱり悲しいことじ

やないかと。

そこで、まずは笑顔を

増やすということに、活

動の焦点を当てようと

いうことになりました。

私は、年下の方々は、

るという感覚を持つた

ことがあります。だから、

今日より明日が良くな

くなると言わても信

用できない。逆に私は、

高校時代がまさにバブ

ルの真っ当中。大学を

卒業するときに「あれ

つ？」みたいな状況でし

たけれど、でもまだま

だ、「まあ何とかなるだ

ろう」みたいな。この「何

とかなる」が、まさしく

「今日より明日が良く

なるはず」という希望で

すよね。若い人たちはそ

ういうものを持ったこ

とがないらしい。だからこそ、夢とか希望とか笑

顔とかでなくて、もっと現実的なことを言おうとしていました。

ところが、理事や、そ

の他いろいろな方から

も話を聞いていると、い

ういう若い人たちが

や、違うのではないかと

いう意見が大半でした。

そういうためにはどうした。その人たちが笑顔にならいいのか考えなければいけない。今日より明

日が良くなるというこ

とを信じられないのは、

やつぱり悲しいことじ

やないかと。

そこで、まずは笑顔を

増やすということに、活

動の焦点を当てようと

いうことになりました。

私は、年下の方々は、

るという感覚を持つた

ことがあります。だから、

今日より明日が良くな

くなると言わても信

用できない。逆に私は、

高校時代がまさにバブ

ルの真っ当中。大学を

卒業するときに「あれ

つ？」みたいな状況でし

たけれど、でもまだま

だ、「まあ何とかなるだ

ろう」みたいな。この「何

とかなる」が、まさしく

「今日より明日が良く

なるはず」という希望で

すよね。若い人たちはそ

ういうものを持ったこ

とがないらしい。だからこそ、夢とか希望とか笑

顔とかでなくて、もっと現実的なことを言おうとしていました。

ところが、理事や、そ

の他いろいろな方から

も話を聞いていると、い

ういう若い人たちが

や、違うのではないかと

いう意見が大半でした。

そういうためにはどうした。その人たちが笑顔にならいいのか考えなければいけない。今日より明

日が良くなるというこ

とを信じられないのは、

やつぱり悲しいことじ

やないかと。

そこで、まずは笑顔を

増やすということに、活

動の焦点を当てようと

いうことになりました。

私は、年下の方々は、

るという感覚を持つた

ことがあります。だから、

今日より明日が良くな

くなると言わても信

用できない。逆に私は、

高校時代がまさにバブ

ルの真っ当中。大学を

卒業するときに「あれ

つ？」みたいな状況でし

たけれど、でもまだま

だ、「まあ何とかなるだ

ろう」みたいな。この「何

とかなる」が、まさしく

「今日より明日が良く

なるはず」という希望で

すよね。若い人たちはそ

ういうものを持ったこ

とがないらしい。だからこそ、夢とか希望とか笑

顔とかでなくて、もっと現実的なことを言おうとしていました。

ところが、理事や、そ

の他いろいろな方から

も話を聞いてると、い

ういう若い人たちが

や、違うのではないかと

いう意見が大半でした。

そういうためにはどうした。その人たちが笑顔にならいいのか考えなければいけない。今日より明

日が良くなるというこ

とを信じられないのは、

やつぱり悲しいことじ

やないかと。

そこで、まずは笑顔を

増やすということに、活

動の焦点を当てようと

いうことになりました。

私は、年下の方々は、

るという感覚を持つた

ことがあります。だから、

今日より明日が良くな

くなると言わても信

用できない。逆に私は、

高校時代がまさにバブ

ルの真っ当中。大学を

卒業するときに「あれ

つ？」みたいな状況でし

たけれど、でもまだま

だ、「まあ何とかなるだ